

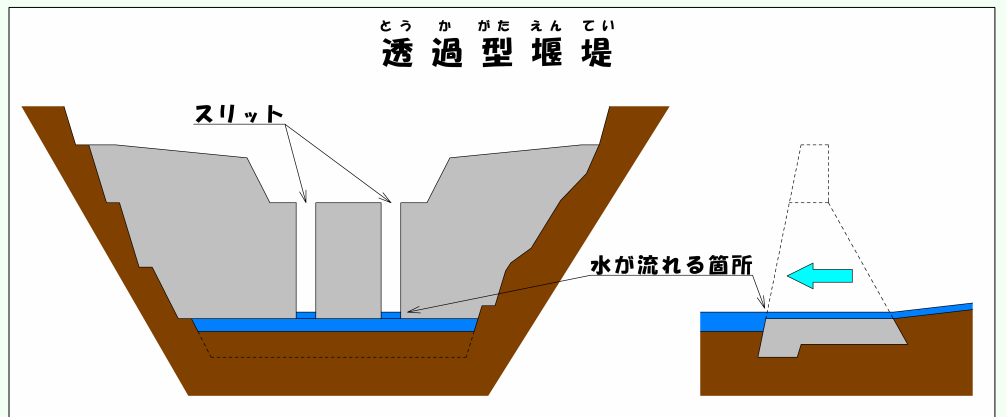


鹿塩川の地獄谷で砂防堰堤の工事をしています

現在、鹿塩川の土砂災害対策として、砂防堰堤の工事をしています。この堰堤は、透過型堰堤という構造で、中央のすきま(スリット)から土砂を下流に流して、河川環境をより自然に近い状態に保とうというものです。

一気に土砂が流れでる大洪水時には、土砂は堰堤に堆積されます。しかしその後の中小洪水でスリットから徐々に土砂を下流に流します。

地獄谷の付近は、中央構造線が通過しています。もろくて・険しい地形状況の中で工事を進めています。



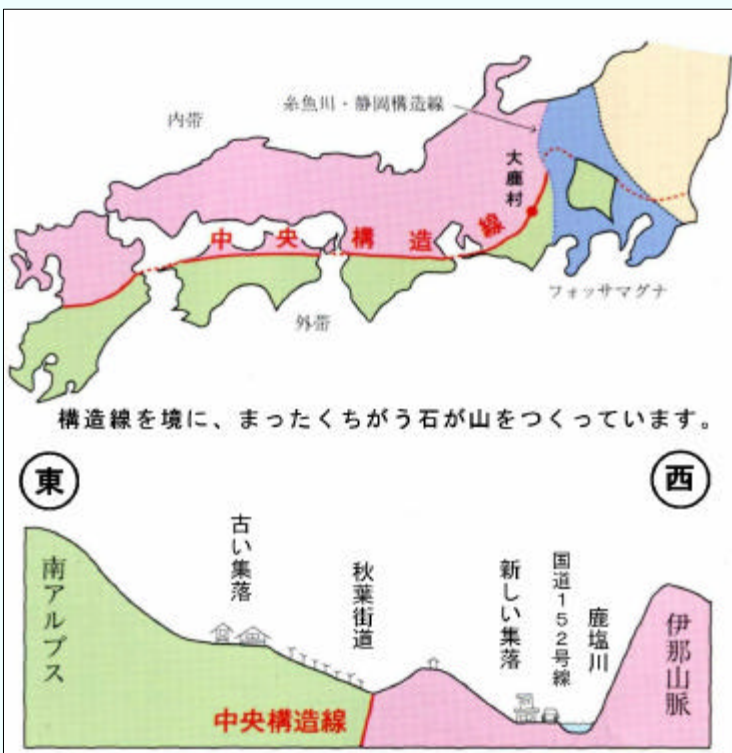
不明な点などがありましたら、ご連絡下さい。
 施工：株式会社 加賀田組 名古屋支店
 電話：0265-39-1056
 現場代理人 コマタ エイジ 古俣 英二

中央構造線を調べてみませんか？

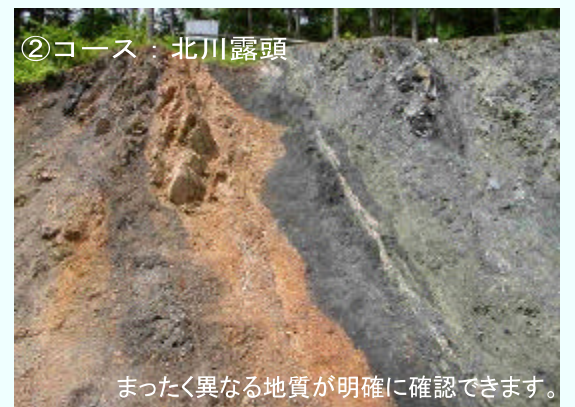
中央構造線は、関東から九州まで日本列島を、縦断する恐竜時代からの大断層です。

中央構造線 大鹿村まるごと博物館 観察コース「全6コース」

所要時間：自動車及び必要箇所については徒歩



- 大西公園・小渋峡コース 博物館～鹿塩市場 2時間
- 北川露頭・鹿塩川コース 博物館～分杭峠 2時間
高森山林道 2～4時間
- 塩川コース 鹿塩市場～入沢井 2時間
- 断層鞍部・秋葉街道コース 鹿塩市場～博物館 1時間
中尾～ビガーハウス 40分
- 鳥倉・上蔵コース 博物館～夕立神展望台 往復2時間
博物館～小渋温泉 片道40分
- 安康露頭・青木川コース 博物館～地蔵峠 2時間半



大鹿村は、南北25km×東西16kmの範囲がまるごと中央構造線の博物館になっています。南北には中央構造線の断層露頭と断層地形が、東西には日本列島の骨格をつくる四万十帯～領家帯の岩石が、構造線の両側では対称的な地質・地形・集落を形成しています。私たちの暮らしとのかかわりを自分の足で、調べてみるのも一興では。

中央構造線については、今回御協力をして頂いた、大鹿村中央構造線博物館にいろいろな情報や展示物等がありますので、一度行ってみたいはいかがでしょうか。

協力：大鹿村中央構造線博物館 TEL 0265-39-2205
<http://www.osk.janis.or.jp/> mtl-muse